

さむかわ安全・安心フェアに出展しました！

【日時】2024年11月24日(日)10:00～

【場所】さむかわ中央公園



当日は風が時折強く吹いていたものの天気が良く、公園には親子連れが多く見られました。当協会はメインステージから一番近いブースで、「手洗いチェッカー」「応急手当」「段ボールトイ」の紹介を行いました。

「手洗いチェッカー」では蛍光剤を両手の平、手の甲に塗りウェットティッシュ1枚で“どれだけふき取れるか”、また“どこが残っているか”ブラックライトを使用して確認しました。これは、災害時に水の使用制限が予想されることからウェットティッシュ1枚で手指衛生をしなければいけない場面を想定して、「どこまでキレイにできるのか」を可視化しています。参加者からは「意外と残っている」「私の弱点は爪のところか…」といった声が聞こえてきました。

「応急手当」では身近なものを使った応急手当の方法を実演しながら紹介しました。とりあえず病院へ行くまで“何で・どのように”止血や固定をするか。特に段ボールや雑誌を添木にした骨折の場合の固定方法については「ああ…確かに」「そういう物でも代用できるんですね」といった声が上がっていました。

またパネル展示を見て、「火傷の時はこうすれば良かったんですね。先日自分自身が火傷を負った際にどうしたら良いかわからなくて…勉強になりました」というお話も聞くことが出来ました。

「段ボールトイレ」はその名の通り、段ボールを使って作成したトイレを展示し、希望者には実際に座っていただきます。災害時にどうしても発生するトイレ問題。身近な段ボールでもトイレの代わりになることを知っていただくと同時に、目隠しになるものの必要性を説明しました。「座ってみても意外としっかりしている」「自分でも作ることができるのか」「確かに目隠しになるものは必要」といった意見が聞かれ、使用した後の汚物処理の方法や段ボール以外の身近なもので作成出来ないかと言った実際を想定した質問も聞かれました。

ブースに立ち寄ってくださった方は216名。ご家族での防災意識を高めると同時に、災害時だけでなく「何かの時」のお役に立てればと思いました。